

地域におけるサロン活動の援助とサロン会場の提供

【取り組み内容のポイント】 地域の高齢者を対象として、久美浜町全域で希望を募り、地域のコミュニティセンターを借りて「出前サロン」を開催している。また、特別養護老人ホーム久美浜苑の使用していないスペースを利用してサロンを開催し、地域でサロン活動のリーダーとなる方の育成も視野に置きながら活動を進めている。さらに、地元の中学校の総合学習に社会人講師として携わり、サロン活動開催に向けた支援を行っている。

京都府

社会福祉法人

北丹後福祉会

〒629-3403 京都府京丹後市久美浜町169番地

TEL：0772-82-1555 FAX：0772-82-0114

●法人創立年

昭和62(1987)年

●法人実施事業

- ①経営施設数合計：4施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：
特別養護老人ホーム…2、
居宅介護支援事業所…1、
通所介護事業所…2、
短期入所生活介護事業所…1

●法人の理念・経営方針

個人の尊厳を重んじ、利用者の立場に立ったより質の高いサービスを提供し、地域社会での生活を支援します。

●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款への記載：記載していない
- ②事業報告・計画への記載：記載している

●取り組みを実施している施設の概要

【施設名】：

久美浜居宅介護支援事業所・久美浜デイサービスセンター
京丹後市佐濃デイサービスセンター

【施設種別及び利用定員】：

居宅介護支援事業所
久美浜デイサービスセンター 定員45名
京丹後市佐濃デイサービスセンター 定員45名

●活動内容

- ◇活動開始年：平成23(2011)年8月
- ◇活動の対象者：地域の高齢者（介護保険利用者を除く）
- ◇活動の頻度・時間
出前サロン 月2回 1回あたり120分程度
サロン 週1回 1回あたり120分程度

◎活動実施の背景、実施にいたった理由

この活動は、平成23(2011)年度の京都府のモデル事業として開始した「高齢者地域支援体制強化事業」がきっかけとなった。

特別養護老人ホーム久美浜苑の空きスペースを活用し、週1回地域の比較のお元気な高齢者が集まれる場所を提供した。開始後3か月程度は職員が指導に入り、少しずつ参加者だけで活動ができるように進めていき、現在では自主的活動として継続できている。

出前サロンについては、昨年当法人のデイサービス2施設からそれぞれ1か月に1回のペースで職員を派遣し、健康体操等の活動を行っている。継続を望む声が多く、今年度に入ってから継続中である。

以前から支援を行っている地元中学校の総合学習では、地域に出かけていき関係事業所で実習や研修を通して高齢者福祉について学習した結果を、サロン開催の形で地域にフィードバックしてはど

うかと提案したところ、平成21(2009)年度から実施となり現在も継続されている。

◎実施内容

モデル事業を進める中で、独居高齢者・高齢者世帯の見守り事業と地域サロンの活動援助を柱として取り組んだ。

平成24(2012)年度に入り、モデル事業は終了したが、地域への貢献という視点から現在も事業を継続している。

○自主的なサロン活動の支援

当法人の施設を開放し、高齢者の自主的なサロン活動が毎週水曜日の午前中に実施されている。そのフロアにはパワーリハビリテーションのマシンが設置されており、機械の操作に慣れるまでは職員が指導を行った。

その後は自主的に活動するという形とし、現在では職員の介入なしに自主的な活動の実施となっている。

口コミ効果で、実施を希望するグループや個人

からの相談も入っており、新しいグループの活動開始に向け準備中である。

○出前サロンの実施

久美浜町全域を対象に、希望される地域に出向いては随時サロン活動を実施している。1地域月1回ペースで、現在2地区で活動を継続している。当法人のデイサービス2施設の職員（各2名）が地域に出向き、活動の進行や指導を行っている。軽運動・ストレッチを基本とし、開催日ごとに道具を使った運動や口腔の体操も実施している。

介護予防体操だけにとどまらず、老人クラブの集まりでの講話等、居宅介護支援事業所の職員を講師として派遣し、クラブの運営の支援を行っている。

○中学生のサロン活動へのサポート

当地域では中学生が総合学習の一環としてサロン活動を行う取り組みを実施しており、その一助となるように進行方法やその内容等研修に携わる形でサポートしている。

◎活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

出前サロンについては、利用されている方からは、「普段動かさない所を動かすので、身体が動きやすくなった」とか「以前よりも元気になった」など多くの感想が聞かれる。

また、指導等に入る職員は、参加者がデイサービスの利用者と心身の状態が異なるため、自事業所での活動内容に工夫を凝らす等の工夫や配慮を行っており、それらの配慮が自事業所での活動にフィードバックされるようなこともあるため、相乗効果がみられている。

老人クラブへの協力についても大変好評で、繰り返し依頼を受けて出向いている。



タオルを使った体操。皆、背筋が良く伸びている。

いずれの活動も、社会福祉法人職員として地域に貢献していることを実感でき、職員のモチベーションアップにも繋がっているのではないかと考えている。

◎今後の展開

利用者にも、地域にも定着してきているこれらの事業については、参加者からの継続の希望も強く、継続は社会福祉法人の使命であるとも考える。

今後は、当法人の実施する活動を通して、地域のサロン活動の担い手を育成していく必要があるのではないかと考えている。

今行っている活動を地道に継続していくことが大切であり、そうすることで自発的な活動が地域で生まれ運営されるようになり、安心して暮らせる街づくりに繋がるものと考えている。

◎主な経費や財源及び人員等

取り組みに係わった職員数〔10〕名

（職種等：介護支援専門員）

・取り組みを実施している施設の事業規模（平成23（2011）年度決算の事業活動収入）〔13,821〕千円

※法人全体の事業規模（同上）〔480,881〕千円



中学生が勉強のために参加。
若いパワーと熟年のパワーがあふれている！



畳の上での動きを意識した体操。